

# フォト俳句

## プログラムの概要・ねらい

写真を撮り、撮った写真に俳句をのせて作品とする。写真を撮ることは観察する力を、俳句を作るとは言葉で表現する力を養うことにつながる。

また、写真と俳句を組み合わせることで表現活動の楽しさに触れることができる。活動期間中に継続して行えば、まとめにもなる。

場所	所内～所外、 視聴覚室、 集いのホール	  
時間	2時間～	
値段	無料	
季節	年間	
人数	視聴覚室 席数 200	
準備物	<b>【利用者】</b> 季節に合わせた服装、救急用品、デジタルカメラ、パソコン、ケーブル、バインダー、メモ用紙、筆記用具  <b>【自然の家】</b> 特になし	

## ①準備

使用する場所の鍵をサービスセンター受付で受け取る。

## ②実施の流れ

### 【時間】

- 0:00 道具の準備
- 0:05 諸注意・観察方法の説明
  - ・ テーマの発表
  - ・ フィールドマナーの説明(道から外れない、静かに観察するなど)
 ※事故が起こった場合の連絡体制を確立する。
- 0:10 フィールドに出発し、テーマに沿って写真を撮影する。(写真①②)  
活動の目的・ねらいに合わせて実施する。  
[テーマ例]  
『自然の家の四季』、『移動教室の思い出』など  
俳句で使えるような言葉を見つけたときはメモしておく。
- 1:10 写真撮影終了
- 1:15 俳句作成開始  
俳句は「5・7・5」のリズムで表現する。また季語を入れる。  
(川柳や短歌でも実施可能)
- 1:35 視聴覚室や集いのホールのスクリーンを利用し、作品を発表する。  
(写真③)  
※撮影枚数が多くなると、整理などに時間がかかるので十分注意する。
- 2:00 片付け・終了



※宿泊棟・食堂(レストラン森の木)・大浴場・シャワー室内には入れない。また、プログラムで他の利用者が使用している施設には、入らないように指導する。  
※注意が必要な動植物があるので確認し、スズメバチや毒ヘビ等に遭遇した場合の注意を徹底する。  
(別紙 注意が必要な動植物参照)

## ③後片付け

サービスセンター受付へ鍵を返却する。  
使用した器材類に破損や故障があった場合には、サービスセンター受付に申し出る。